

減らそう！ プラスチック

ペットボトルやレジ袋など、私たちの生活にはプラスチック製品があふれています。日本は1人当たりの使い捨てプラスチックごみ量が、米国に次ぐ世界第2位の多さです。プラスチックをまったく使わない生活は難しいかもしれません、使う量を減らすことはできるはずです。それぞれの立場でできる取組を行い、プラスチックと賢く付き合っていきましょう。

あきしまはつ
昭島発

プラスチック -1 運動に取り組もう！

買い物の時、飲食店でなど、あらゆる場面でプラスチックを1つ減らす取組です。必要なないプラスチックはもらわない、簡易包装の物を購入するなど、「断る」「選ぶ」も重要なアクションです。個人ではたった1つですが、みんなで取り組んで大きな減量につなげましょう。

01

買い物にはマイバッグを持参して、レジ袋はもらわない。



02

お出かけにはマイボトルを携帯して、ペットボトル飲料は買わない。



03

コンビニやファーストフード店の飲み物は必要なければストロー、ふた、マドラーはもらわない。



04

食品はふた付きの容器に保存して、ラップは使わない。



海ごみが大きな問題になっています！

まいとし まん いじょう 每年800万トン以上のプラスチックがごみとして海に流れ込み、

このままでは2050年には海中のプラスチックごみが魚の量より多くなると

予測されるなど、地球規模での環境汚染が大きな問題になっています。

うみ おお かぜ と 海ごみの多くは風で飛ばされるなどして川や水路などに入り込み流れついたもので、

その大半は私たちの生活の中から出てくるプラスチック製品です。

うみ とお あきしまし す わたし うみ へ 海から遠い昭島市に住む私たちにも海ごみを減らすためにできることができます。

まずは、身近なところから「私たちにできること」を始めましょう。

できること
その1

す ごみのポイ捨て、
ふほうとうき 不法投棄はしない。



できること
その3

おくがい で 屋外で出たごみは
いえ も かえ 家に持ち帰る。



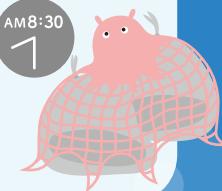
うみ かわ やま 海や川、山などのごみは、風や増水に
より、やがて海ごみになってしまいます。



できること
その2

ぶんべつ しゅうしゅうび ごみは分別して収集日
とうじつ あさ じ ふん 当日の朝8時30分までに出す。

かぜ と 風に飛ばされるなどしないように
だ して出してください。



できること
その4

かわ うみ せいろ うみ 川や海などの清掃活動に
さんか 参加してみる。

あきしまし まいとし たまがわ さくせん 昭島市では、毎年「多摩川クリーン作戦」
じっし を実施しています。

できること
その4

うつく うみ みらい 美しい海を未来にも！

リユース食器貸出事業



しない など かいさい じちかい こどもかい ろうじんかい しみんだんたい しょっき むりょう か だ 市内でイベント等を開催する自治会や子供会、老人会などの市民団体に食器を無料で貸し出
してしています。リユース食器を使用することで、ごみを減量できると同時に、使い捨て食器類の購
入費用を節約することができます。ぜひご利用ください！

くわ かんきょううけいきくすいしんかかり ないせん しょき しよう げんりょう どうじ つか す しょきりい こう 詳しくは、環境課計画推進係(042-544-5111 内線2295)へ
と あ お問い合わせください。

しようご しょきりい さんさい と のぞ 使用後の食器類は残菜を取り除き、
あ へんきゃく 洗わずそのまま返却してください。



できること
その4